

文化戦力としての知財

2007.3.8 浜野保樹

文化を産業化するという大きい枠組みからコンテンツ産業を捉える。

(1) 財 と (2) ソフトパワー

小林一三 (東宝の創業者、商工大臣、戦災復興院総裁)

(1) 哀れみを受ける国、(2) 可愛がられる国、(3) 尊敬される国
ポップカルチャーの議論は(2)で停滞。

日本の責務： 循環型生活様式、和風的生活様式こそが最先端。

LOHAS (Life of Health and Sustainability) スローフード
アメリカ型の大量生産・大量消費・大量廃棄のライフスタイルは古い生き方。

コンテンツ産業をクリエイティブ産業から捉える

著作権で守られる文化資源の産業 = コンテンツ産業

コンテンツ産業はライフスタイルに関する旗頭。

著作権で守られない文化資源までも含む産業 = クリエーティブ産業

衣食住、デザインは毎日のライフスタイルにかかわること。

評価軸を海外に提示するための顕彰事業

日本文化の普及啓蒙につくした外国人の顕彰。

日本オリジナルの表現形式を使った外国作品の顕彰。

海外の人達があこがれる日本の表現者の顕彰。宮本茂、村上春樹ほか。

昭和 25 (1950) 年前後と同じ失敗の回避。

外貨獲得のための「輸出映画」振興。映画振興協会。

文化国家を標榜しながら、「文化の産業化」をなしえなかった。

広く文化戦略を立案する機関

フランス = 学士院、イギリス = 外交政策センター、韓国 = 韓国文化コンテンツ振興院

外国からの日本イメージを継続して把握する努力。

フランス大統領候補による日本アニメーション批判。

文化に関する外交の予算順位

順位	総額（万米ドル）	国民1人当たり（米ドル）
1	フランス (104,916)	フランス (17.57)
2	イギリス (21,442)	カナダ (3.66)
3	日本 (21,030)	イギリス (3.57)
4	アメリカ (18,436)	スウェーデン (3.51)
5	カナダ (11,672)	オーストラリア (2.32)
6	オーストラリア (4,528)	シンガポール (1.67)
7	スウェーデン (3,091)	日本 (1.69)
8	オランダ (1,608)	オランダ (1.00)
9	オーストリア (814)	オーストリア (0.99)
10	シンガポール (745)	アメリカ (0.65)

出典：Margaret J. Wyszomirski, Christopher Burgess, and Catherine Peila, INTERNATIOAL CULTURAL RELATIONS: A MULTI-COUNTRY COMPARISON , Arts International, and Center for Arts and Culture, 2003